

# 東北芸術工科大学 紀要

## BULLETIN OF TOHOKU UNIVERSITY OF ART & DESIGN

No.20 | Mar.2013



TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

# 東北芸術工科大学 紀要

BULLETIN OF  
TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

No.20 | Mar.2013

---

©2013 by Tohoku University of Art and Design

All rights reserved. No part of this publication may be  
reproduced in any manner whatsoever without permission  
in writing.

Editor:

Hiroshi KOTO (Head)  
Masataka YOSHIDA  
Hiroyuki AOYAMA  
Makito ENDO

Editorial design:

Kazuya KONDO

Printed by:

Tamiya Printing Co., Ltd.

Published by Tohoku University of Art and Design  
3-4-5 kamisakurada, Yamagata  
990-9530 Japan

---

## 目次 | Contents

---

◎特集:学ぶ意欲をどのように高めるのか —教養ゼミナール(農芸)の挑戦	8
教養ゼミナール(農芸)のねらいと展望 白杉 悅雄   Etsuo SHIRASUGI	11
農業の教養ゼミナールで学生はなにを得るか 古藤 浩   Hiroshi KOTO	17
農芸ゼミナールでの試みと成果 早野 由美恵   Yumie HAYANO	24
教養ゼミナール「農芸」の実践からみえてきた学び 柳川 郁生   Ikuo YANAGAWA	32
教養ゼミナール農芸クラスの成果と課題 —教養教育としての意味を探って 片桐 隆嗣   Ryuji KATAGIRI	41
ソーシャルコンテンツによる地域活性化戦略の手法とその検証 Study of area management & development method by social contents 平林 千春   Chiharu HIRABAYASHI	50
米沢寺町まちづくりワークショップの実践 地域の景観まちづくりを考える、市民協働の取り組み手法について Report on citizen's participation in a landscape planning of a temple town in Yonezawa-city 志村 直愛   Naoyoshi SHIMURA	62
「生・死・死後」の色に関するイメージ 東北芸術工科大学学生への質問紙調査結果から Color Images of Life, Death and After Death Using a Questionnaire Method with Students of Art 久保田 力   Chikara KUBOTA	72
Insights into Therapeutic Potentials of Arts in Japan 日本における芸術の治療的可能性に関する考察 Minatsu ARIGA   有賀 三夏	84
漫画映画からアニメーションへ—自主制作という選択肢— From Manga Eiga (Manga Films) to Animation — Choosing the Path of Independent Animation Creation — 玉井 建也   Tatsuya TAMAI 吉田 正高   Masataka YOSHIDA	92
大学初年次教育へのNIE活用に関する実験的演習の実践報告 —リメディアル教育への効果的な導入に向けて— The practice report of the experimental exercise about the NIE practical use to university first annual education —the effective introduction to remedial education— 吉田 正高   Masataka YOSHIDA	102
「国際語」教育の展望 芸術大学における英語カリキュラム再編の実践から A View of 'Lingua Franca' Education From the Practices Employed During the Reorganization of the English Curriculum at an Art University 山口=内田 雅克   YAMAGUCHI=UCHIDA Masakatsu	114
2011年度東北芸術工科大学出版物総目次	130
椿椿山『足利遊記』翻刻と解題 Tsubaki Chinzan's Travels in Ashikaga: Reprint and Bibliography 山田 烈   Isao YAMADA	四(165)

# 2011年度 東北芸術工科大学 出版物総目次

(編集委員会の調査に回答のあったものを掲載)

## ◎全学共通

東北芸術工科大学 紀要 第18,19合併号  
(2011年10月発行)

- 山寺立石寺記念殿について 志村直愛 p.6
- 「产学連携プロジェクト」による市場創発の可能性についての考察—その視点と手法の探索 平林千春 p.14
- ジャクソン・ポロックの『壁画』—イーゼルと壁画の中間的機能をめぐって 岸みづき p.26
- ゲーム市場の動向に関する研究(その1)2001~2010年の日米欧ゲーム市場動向概要 白神浩志 p.38
- ペクトル場作成による二酸化炭素排出量の国家群分析 古藤浩 p.48
- 「知の攪乱」が再生する「生と性」—ジェンダー論『多性研究』から探る教養教育の手法と意義 山口=内田雅克 p.62
- 芸術とスピリチュアリティ—東北芸術工科大学学生対象の質問紙調査結果とその分析— 久保田力・古藤浩・三瀬夏之介・渡部諭 p.98
- 〈エッセンシャル版〉厚生芸術の萌芽的研究 少子高齢化社会における社会厚生のための熱学思想と創造的資本論の接続による実践美学試論 山本和弘 p.162
- 渡辺翠山の山水観 山田烈 四頁(p.189)

## ◎美術館大学センター

TUAD AS MUSEUM : Annual Report 2011  
(2011年度 東北芸術工科大学美術館大学構想年報)  
(2012年4月発行)

- 向井山朋子『夜想曲/Nocturne』 声をとりもどす一向井山朋子と石巻のピアノ 宮本武典 p.6
- 向井山朋子『夜想曲/Nocturne』 すべてはピアノの前の

- できごとして 向井山朋子+宮島達男 p.10
- 特集3.11 ドキュメント〈東日本大震災から1年〉① このあしもとにつづく 川村智美 p.20
- 特集3.11 ドキュメント〈東日本大震災から1年〉② 風景の弔いを経て、「大切な場所」へ 宮本武典 p.28
- 特集3.11 座談会 震災と美大  
根岸吉太郎+竹内昌義+三瀬夏之介+宮本武典 p.43
- 特集3.11 インタビュー 隠喻の方法を考える 酒井忠康 p.56
- 特集3.11 復興の現場から VANの活動と紙管の再利用プロジェクト 和田菜穂子 p.60
- TUAD mixing! 2011『それぞれの3.11 8人のリレートーク』 p.66
  - ・対話I〈自分たちができることって?〉 青山ひろゆき+前田哲
  - ・対話II〈ヒトとモノの記憶〉 藤原徹+原高史
  - ・対話III〈東北の未来を考える〉 三瀬夏之介+馬場正尊
  - ・対話IV〈自然と向き合う〉 田口洋美+辻けい
- 制作ノート 民俗知を呼び出す『ひじおりの灯2011』  
宮本武典 p.78
- 制作ノート「シェア」のトレーニング  
Rコモンズ(松山隼+荒達宏+吉田勝信+工藤裕太) p.80
- 制作ノート 美術館における教育普及活動『ネコになりきろう!』  
ワークショップ 和田菜穂子 p.86

## ◎東北文化研究センター

研究紀要11  
(2012年3月発行)

- 縄文時代早期論(中) 安斎正人 p.3
- 種子島広田遺跡のオオツタノハ製貝輪—現生貝調査からみた素材採取地と採取法、加工法 忍澤成視 p.31
- 明治初頭~一〇年代における漁村の秩序と変容—伊豆国内浦重須村を対象に 中村只吾 p.59
- 新潟県粟島における在来農業とマメ類—焼畑・畑作・牧畑の周辺 岸本誠司 p.85
- 沖縄西表島のイノシシ獣にみる括り罠獣の生態的特徴 蟹原一平 p.107
- 「苦聰人」はなぜ森に戻りたいのか?—狩猟採集から農耕定住への二十一世紀における葛藤 謝黎 p.127
- ガラス乾板のデジタル化と課題—東北文化研究センターアーカイブスの現場から 井筒桃子 p.135
- 研究員プロフィール及び業績 p.143
- 平成23年度東北文化研究センター実績一覧
- 東北文化研究センターの機能/東北文化研究センター組織

[特集]いくつもの日本の神話へ

座談:

- 多彩な神々が活躍する列島の神話—地域の神話群と物語へ  
変容する記紀神話 保立道久・赤坂憲雄・入間田宣夫 p.6

論考:

- アマテラス神話の中世 佐藤弘夫 p.29

- 鎌倉幕府の草創神話—現代人をも拘束する歴史認識  
川合康 p.41

- 平泉の神話 斎藤利雄 p.58

- 中世村落の草創神話 蘭部寿樹 p.72

- 千葉大王御子の物語によせて 入間田宣夫 p.84

- 大内氏の祖先神話 伊藤幸司 p.94

- いくつもの神話と火山—邪馬台国・アマテル・高千穂  
保立道久 p.108

- 徳川将軍家の草創神話 曽根原理 p.127

[連載]

- 東北民衆史の水脈(最終回)『銀河鉄道の夜』をめぐって—  
保坂嘉内・宮沢賢治・前原寅吉 色川大吉 p.138

- 民俗学の眼8 消えた馬影—景物からの民俗遡及4  
野本寛一 p.150

- 東シナ海の古層7『呑みこむ』行為—(平島語字典)から  
稻垣尚友 p.167

- 済州島の民俗27 ある農夫が語る伝統農法一生業民俗論  
20 高光敏(李惠燕・訳) p.182

- 島のことづて3 西表島の女性の暮らし—網取村の思い  
出 安溪貴子・安溪遊地 p.195

- アジアの風のなかで7 遷上する魂 木村文 p.208

- あの頃のこと5 二十歳の夏1 金利恵 p.218

[東北学の窓]

- 転換期の中の津軽学—六年の意義をふりかえって(地域学)  
山下裕介 p.225

- 合戦における兵士の実態(書評) 小久保嘉紀 p.229

[口絵]

- 写真曼荼羅(新鋭篇4)山形県鮭川村  
腰高直樹(内藤正敏編)

- 口絵解説 内藤正敏 p.233

[特集]地震・津波・原発—東日本大震災

座談:

- 大震災・原発事故と地域社会—課題に向き合う議論の場を

どうつくるか 澤田哲生・清水亮・田口洋美 p.6

論考:

- 津波と民俗学 藤井弘章 p.31

- 東日本大震災と阪神大震災の与えた課題—神戸から東北  
への声援 森栗茂一 p.44

- 三陸の漁村の記憶 森本孝 p.58

- 貞観津波と大地動乱の九世紀 保立道久 p.74

- 東日本大震災と九世紀の地震 寒川旭 p.95

- 明応地震と庄内沖地震の津波被害 矢田俊文 p.106

- 仙台平野に来襲した三回の巨大津波—地層から復元される  
過去の津波被害 松本秀明 p.114

- 寛保の松前大津波—被害と記憶 菊池勇夫 p.127

- 東北地方太平洋沖地震の地殻変動と変動地形 渡辺満久  
p.140

- 自然災害と歴史学 入間田宣夫 p.151

- 災害コミュニケーション—災害ボランティア活動を事例として  
渥美公秀 p.164

- 東北発の震災論へ—コミュニティ交流支援の現場から  
山下祐介 p.172

- 震災地復興の主体と条件—生活再建とコミュニティづくりに  
向けての覚書 大矢根淳 p.183

- 流された漁村に立つ 川島秀一 p.194

エッセイ・ルポ・写真:

- ハナドリとコウナゴダカリ—『原発銀座』のなかで生きるということ 金田久璋 p.201

- 三陸海岸の津波の碑 野添憲治 p.210

- 消せない記憶 荒川健一 p.217

- 原発事故の体験と記録—三ヶ月を経ての覚え書き  
大山孝正 p.229

- 自然災害と柳田国男 石井正己 p.238

- 予想しなかった津波—宮城県亘理町吉田・野地区での出来事 七海雅人 p.244

- 杞憂が杞憂でなくなった日 廣瀬玲子 p.248

- ルポ・被災地若者物語 岩崎孝正 p.252

[連載]

- アジアの風のなかで⑧「つなぐ」ということ 木村文 p.268

- 島のことづて④ 原発なしで暮らしたい—瀬戸内海・祝島の人々 安溪遊地・安溪貴子 p.278

- 東シナ海の古層⑧ 入りこみ人たち—(平島語字典)から  
稻垣尚友 p.294

- 済州島の民俗⑯ ある農夫が語る伝統農法②一生業民俗論21 高光敏(李惠燕・訳) p.310

- モノからみる韓国⑪ ソナム 李惠燕 p.323

[口絵]

- 写真曼荼羅 災害列島ニッポン—東文研・絵葉書アーカイブスより(構成・内藤正敏)

- 口絵解説 内藤正敏 p.330

[特集]東北の海—東日本大震災②

座談:

- 三陸の海、歴史と風土そして復興—浦々の漁民たちの暮らしと  
ネットワーク 森本孝・川島秀一・田口洋美 p.6

論考:

- 浸水線に祀られるもの—被災漁村を歩く(上) 川島秀 p.27  
○復興と海縁ネットワーク 野地恒有 p.38  
○浜下りと大震災 佐々木長生 p.48  
○津波伝承論ノート—若狭湾沿岸の歴史津波について  
金田久璋 p.64  
○捨て場から探る縄文時代の漁撈活動 太田原(川口)潤  
p.83  
○宮古島の縄文文化に学び震災復興を考える 岡村道雄  
p.100  
○中世東国における大地震の発生と戦乱の勃発 峰岸純夫  
p.116  
○慶長大津波と震災復興 蝦名裕一 p.124  
○明治三陸津波における義捐金と寄贈品 竹原万雄 p.139  
○「思い出の風景」から考える被災地復興 廣瀬俊介 p.150  
エッセイ:  
○集落の歴史を包む海と山、そこに在る家 中村只吾 p.162  
○野蒜幻燈 西脇千瀬 p.174  
○「地域の力」と緊急支援—震災の現場で感じたこと 佐藤稔  
p.181

[個別論考]

- ラオス北部村落の景観と農民—ルアンバーン県コクナン村  
から 原田信男 p.250

[連載]

- 民俗学の眼⑨ 稲荷信仰の振幅—景物からの民俗遡及⑤  
野本寛一 p.188  
○島のことづて⑤ 海の水・天からの水・地下の水—沖縄・  
宮古島の暮らし 安溪遊地・安溪貴子 p.204  
○東シナ海の古層⑨ オヤコとヤドー客人接待制度—〈平島  
語字典〉から 稲垣尚友 p.220  
○済州島の民俗29 牛飼育の東西南北—生業民族論22  
高光敏(李惠燕・訳) p.236  
○モノからみる韓国⑫ マッコリ 李惠燕 p.275  
○アジアの風のなかで⑨ 〈同じ年〉の衝撃 木村文 p.282  
○あの頃のこと⑥ 二十歳の夏2 金利恵 p.294

[口絵]

- 写真曼荼羅(新鋭篇⑤)inevitable  
竹原優(構成・内藤正敏)  
○口絵解説 内藤正敏 p.303

季刊東北学 第30号  
(2012年2月発行)

[特集]若者たちの東北—東日本大震災③

座談:

- 大震災後の東北の自然と動物—放射能汚染の状況と狩猟  
の環境をめぐって  
佐々木洋平・小原正弘・溝口俊夫・田口洋美 p.6  
論考・エッセイ・写真:  
○原発震災後に思う白虎隊と会津 川延安直 p.31  
○「勤王」秋田藩の苦悩—秋田藩士高瀬権平とその周辺  
天野真志 p.40  
○二本松少年隊の歴史と東北 星亮一 p.53  
○満蒙開拓青少年義勇軍を知っていますか? 後藤和雄  
p.60  
○山びこ学校 その後一大震災と原発事故にふれながら  
佐藤藤三郎 p.71  
○「命でんでんこ」の語り継ぎ—田畠ヨシさんの紙芝居「つなみ」  
山崎友子 p.79  
○東北大難魂見聞録—あなたへ 鏡ともり p.91  
○体に刻まれた記憶—被災漁村を歩く(下) 川島秀一 p.98  
○〈東北〉と呼ばれた土地から 田附勝 p.109  
○波に消えた少年 岩崎孝正 p.121  
○3・11それから 田口洋美 p.126  
○学生たちの3・11—震災と向き合う 蟻原一平 監修  
p.140

- ・白石明香—少しでもできること、意識し続けること  
・原田京菜—甘かった認識  
・香取千暁—帰宅難民となって  
・阿久津真那一受け入れるという事  
・木村真綾—普通って残酷だ  
・渡邊みなみ—あたたかさ  
・及川葉月—私たちは「被害者」なのか  
・田山雄貴—生きることの実感  
・千尋美紀—一步前へ  
・神 郁江—3・11の時の福島と原発問題

[連載]

- 島のことづて6〈最終回〉越の國巡礼—幕末維新長州  
僧の足跡をたどる旅 安溪遊地・安溪貴子 p.166  
○済州島の民俗30〈最終回〉伝統農法の東と西—生業民俗

- 
- 論23 高光敏(李惠燕・訳) p.194
  - 東シナ海の古層10<最終回>2011年秋 平島再訪—〈平島語字典〉から 稲垣尚友 p.209
  - アジアの風のなかで10<最終回>森の声 木村文 p.228
  - あの頃のこと7<最終回>父 金利恵 p.237

#### [口絵]

- 写真曼荼羅(新鋭篇6)生命のミクロコスモス 山崎裕(構成・内藤正敏)
- 口絵解説(内藤正敏) p.252
- 季刊東北学1~30 総目次 p.253
- 季刊東北学1~30 執筆者索引 p.282
- 季刊東北学1~30 タイトル索引 p.300

---

平成19年度～平成23年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」  
東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究 研究成果報告書I  
(2012年3月発行)

#### [第1部]総論

- 研究成果の概要 田口洋美 p.1
- 完新世の東北地方における生態系史—縄文時代の人為生態系 辻誠一郎 p.13

#### [第2部]各論(基礎研究)

##### 考古班:

- 東北地方における縄紋時代の構造変動 安斎正人 p.35
- 縄文人は定住していたか—民族考古学から見た狩猟採集民の定住行動 佐藤宏之 p.47
- 縄文社会論と日本考古学 佐々木藤雄 p.57
- クマと土偶とシャマンと 小林克 p.83
- 北上川中流域における縄文時代中期集落に関する基礎的研究 菅野智則 p.107
- 富並川流域における縄文時代の遺跡動態—西海渕・川口・宮の前遺跡の検討を通して 小林圭一 p.125
- 縄文時代におけるクッキー状炭化物の炭素・窒素同位体分析 國木田大 p.199
- 縄文時代における森林資源利用と栽培 佐々木由香 p.207
- 仙台平野中北部における弥生時代・平安時代の津波痕跡と集落動態 斎野裕彦 p.225
- 北日本における古代の土鍋調理 北野博司・小林正史 p.259

##### 歴史班:

- 骨寺村・本寺地区における中心の変遷について 入間田宣夫 p.287

- 
- 中山間地生業の変遷—岩手県一関市巣美町本寺地区を中心に 竹原万雄 p.299
  - 牧野の野焼き—盛岡藩の藩牧を中心に 菊池勇夫 p.309
  - 獵師(マタギ)居村の変遷—『弘前藩庁御国日記』から 村上一馬 p.319
  - 近世から近代にかけての飛島—特に『生業知』の観点から 中村只吾 p.343
  - 民俗(人類)班:
    - 東北山村における近現代の変容—奥会津・三島町を事例として 川合正裕 p.363
    - 近現代の東北地方におけるイノシシの分布動態 蛭原一平 p.401
    - 東北地方の山伏神楽・番楽と地域社会 菊地和博・星野紘 p.407
    - 東北に見る民俗芸能の昭和・平成史 星野紘 p.447

---

平成19年度～平成23年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」  
東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究 研究成果報告書II  
(2012年3月発行)

#### [第3部]環日本海比較研究(応用研究)

- 日本海沿岸地域のタブノキをめぐる民俗と信仰 今石みぎわ p.1
- 韓国の共同体における祭祀と産屋の民俗について 李惠燕 p.21
- 時と人の流れの中でのチャイナドレス—移住者・ディアスポラたちの生活文化 謝黎 p.47
- 環日本海北部における極東型新石器文化群の共通性と多様性—極東ロシア南部の新石器文化と日本列島北部の縄文文化の比較にもとづいて 福田正宏 p.53
- 学内WS「極東ロシアと東北地方との相対研究の可能性」(座談会録) p.65
- 学内研究会「東北地方および極東ロシアにおける頭信仰」(講演会録) p.69

#### [第4部]東北地方を中心とした環境の歴史動態を把握する試みに関する年表

- 凡例 p.111
- 年表 p.115

#### [第5部]映像アーカイブの高度な活用:視覚的な記録資料の作成と利活用

- 地域資料の活用とデジタルアーカイブス 岸本誠司 p.287

- 
- 東北地方における木造小型和船と漁村集落の変遷(座談会録) p.296
  - 木造小型和船実測図一覧 p.312
  - 景観のモンタージュ—多旋律的な関係の具体 田口洋美 p.317
  - 集落図・鳥瞰図 p.327
  - 公開講座「放射能汚染と東北の自然」(講演会録) 田口洋美 p.333

[第6部]本事業の概要一覧

- 出張・フィールド調査一覧 p.347
  - 研究会・シンポジウム一覧 p.361
  - 本事業による刊行物一覧 p.368
  - 本事業に関する新聞等記事掲載一覧 p.383
  - 本事業による図書資料の収集状況 p.385
- 

陸奥国磐井郡猪岡村小猪岡(岩手県一関市厳美町)楓山家文書追加目録  
(2012年3月発行)

- 
- 解題 p.1
  - 1.猪岡村小猪岡
  - 2.楓山家
  - 3.「陸奥国磐井郡猪岡村小猪岡楓山家文書」の概要
  - 陸奥国磐井郡猪岡村小猪岡楓山家文書追加目録 p.7
    - A.支配/B.土地/C.租税/E.村政/F.戸口/G.水利・普請/H.争論・訴訟/I.寺社・山伏/J.家政/L.温泉/M.神楽・芸能/N.書籍/O.その他

「弘前藩庁御国日記」狩猟関係史料集 第二卷  
(2011年9月発行)

編集 村上一馬・竹原万雄・中村只吾

- 
- 目次および史料目録 p.1
  - 凡例(掲載基準・表記・注記) p.27
  - 解説 p.30
  - 史料 p.1
  - 狼による人身被害一覧表 p.343
  - 狼捕獲記録一覧表 p.347
  - 熊による人身被害一覧表 p.349
  - 狩猟者名一覧表 p.352
  - 地名新旧対照一覧表 p.356
  - 参考文献 p.359

---

「弘前藩庁御国日記」狩猟関係史料集 第三卷  
(2012年3月発行)

編集 村上一馬・竹原万雄・中村只吾

- 
- 序文 p.1
  - 解説 p.4
  - 目次および史料目録 p.20
  - 凡例(掲載基準・表記・注記) p.40
  - 史料 p.1
  - 熊捕獲記録一覧表 p.285
  - 動物捕獲・上納記録一覧表 p.331
  - 獵師継続記録一覧表(1)(2) p.333
  - 村別獵師記録年一覧表 p.335
  - 狩猟者名一覧表1(史料No.) p.338
  - 狩猟者名一覧表2(西暦年) p.346
  - 地名新旧対照一覧表 p.357
  - 参考文献 p.358
  - あとがき p.361

中世への胎動—北の視点・南の視点 シンポジウム予稿集  
(2011年9月発行)

- 
- 開催にあたって 入間田宣夫 p.1
  - プログラム p.2
  - 安部・清原・藤原政権の成立史を組み直す—北方世界における地域差に関する考古学的所見に学んで 入間田宣夫 p.4
  - 莊園制と『日本』社会周縁からの中世 小川弘和 p.14
  - 考古学から見た北の中世 八重櫻忠郎 p.24
  - 10世紀の北東アジア情勢と北海道・アイヌ史 萩島栄紀 p.29
  - アイヌのエコシステムと中世社会への胎動—一世紀における北海道狩猟採集社会の構造変動 瀬川拓郎 p.40
  - 鎌倉幕府成立期における南海島嶼の様子—源頼朝がめざした『キカイガシマ』には何があるのか 高梨修 p.49

---

東北一万年のフィールドワーク 5 人と動物の近代—絵はがきのなかの動物たち  
(2011年9月発行)

- 
- はじめに 岸本誠司 p.2
  - 鯨—とるのも食べるのもげいのうち 中村只吾 p.4
  - 鳥と人との関わり 竹原万雄 p.12
  - 日本人の暮らしとネコの座 今石みぎわ p.16

- 
- 犬一永きにわたるつきあい 蛭原一平 p.22
  - 鶴と鶴飼の民俗 今石みぎわ p.26
  - ウサギのいる風景 田口洋美 p.32
  - 馬のいる風景 入間田宣夫 p.34
  - シカ一聖なる声のゆくえ 蛭原一平 p.38
  - クマ一森の王 田口洋美 p.42
  - 絵はがきにみる権太の動物たち 福田正宏 p.46
  - 中国の『龍』と『鳳』 謝黎 p.50
  - サルと芸能 田口洋美 p.54
  - 日本近代サーカスの幕開け—来る来るサーカス 井筒桃子 p.58
  - 上野動物園の近代 内藤正敏 p.62
- 

東北一万年のフィールドワーク 6 五味沢  
(2011年12月発行)

編集:チーム「あるぐ・みる・きく」

制作スタッフ(学年は発行当時):布施美由樹(歴史遺産学科1年)・川崎那悠(同2年)・荒川千晴(同)・相澤彩夏(同)・宇部めぐみ(同)・高橋里奈(同3年)・阿部さやか(同)・剣持行史(同4年)・大石絃子(大学院修士課程)・原田圭(大学院修士課程)

- 集落の景観
    - ・五味沢鳥瞰図 p.2
    - ・樋倉鳥瞰図 p.4
    - ・徳綱鳥瞰図 p.6
  - 五味沢のあらまし p.8
  - 木地作り p.11
  - 山と川の恵み p.17
  - 山と生きる p.21
  - 稲作の過去と現在 p.26
  - 座談会 五味沢を語る p.32
  - 資料
    - ・五味沢集落図 1984年/2005年 p.38
    - ・樋倉集落図 1984年/2005年 p.40
    - ・徳綱集落図 1984年/2005年 p.42
    - ・出戸集落図 1984年/2005年 p.44
    - ・五味沢地区狩猟採集物リスト p.46
- 

東北一万年のフィールドワーク 7 信州秋山郷 小赤沢  
(2012年3月発行)

編集:チーム「あるぐ・みる・きく」

制作スタッフ(学年は発行当時):大沼文香(歴史遺産学科

1年)・加藤彩華(同)・布施美由樹(同)・三好明日美(同)・渡邊みなみ(同)・相澤彩夏(同2年)・高畠友美(美術画西洋画コース2年)・浅野友理映(歴史遺産学科3年)・阿部さやか(同)・大泉渉(同)・加藤めぐみ(同)・清野翔子(同)・瀬高孟(同)・高橋智美(同)・高橋里奈(同)・塚越春菜(同)・剣持行史(同4年)・大石絃子(大学院生)・須藤亜希子(歴史遺産学科卒業生)

- 概要 p.2
  - 小赤沢集落図 p.6
  - 「攻めてくる森」 p.8
  - 木を語る p.14
  - 獣を追う p.21
  - 狩猟採集物リスト p.28
  - 朝は、アンボ p.32
  - 子どもの頃 p.36
  - 訪れる人々 p.40
  - 小赤沢の現在 p.44
- 

東北一万年のフィールドワーク 8 木造和船—東北篇—  
(2012年3月発行)

編集:チーム「あるぐ・みる・きく」

制作スタッフ(学年は発行当時):荒川千晴(歴史遺産学科2年)・川崎那悠(同)・佐々木彩夏(同3年)・平井裕美子(同)・福島明恵(同)・宮入美江(美術家コース3年)・村田悠奈(歴史遺産学科3年)・米内千聰(同)・小川ひかり(同4年)・角田美里(同)・剣持行史(同)・鈴木淑子(同)・村上可奈美(同)・大石絃子(大学院修士課程)・須藤亜希子(歴史遺産学科卒業生)

- はじめに p.2
  - イソブネ—青森県下北半島 p.4
  - マルキ—秋田県八峰町八森 p.10
  - カタブネ—秋田県八郎潟 p.16
  - シマブネ—山形県酒田市飛島 p.22
  - マルキブネ—男鹿半島戸賀湾 p.28
  - 最後の丸木舟—秋田県男鹿半島戸賀 p.34
  - 絵はがきのなかの木造和船 p.36
  - 座談会「海からみた東北」 森本孝・田口洋美・角田美里・村上可南美 p.38
- 

まんだら vol.47  
(2011年5月発行)

[特集]いま、問われているものは何か

- 
- 一万年の歴史から日常を問う(座談)  
入間田宣夫・田口洋美・安斎正人 p.2
  - 震災と文化財レスキュー 竹原万雄 p.7
  - 復興会議—〈3.11世代〉のフィールドノート 宮本武典  
p.11  
(活動記録等)
  - 平成22年度文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業  
「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的  
総合研究」公開講座 マグロ漁とクジラ・イルカ猟 中村只吾  
p.15

[連載]

- 池上冬樹の東北文学雑感[7]大地震という戦争。“戦場”を  
前にしての言葉の陶酔と無力。—東日本大震災によせて  
池上冬樹 p.17
- 古文書解読405号室[3]隣人を救うという行為について  
中村只吾 p.23
- 考古学者が映画を観ると[7]アラカルト 安斎正人 p.27
- リレーエッセイ〈東北を撮る〉5 映画『ミツバチの羽音と地球  
の回転』から学んだこと 渡辺智史 p.31
- 東文研アーカイブス通信 ブックレット『東北一万年のフィー  
ルドワーク 小玉川』刊行 岸本誠司 p.35
- 〈特派員レポート 6〉好奇心解放II『真澄学』編集実務を担  
当して 井筒桃子 p.40
- 表紙を飾るアーティストたち 鈴木隆史 p.43

[地域誌だより20]

- 救いは、人の勇気とやさしさ 杉山陸子 p.44
  - 映像でたどる『みちのく異界遺産 やまがた篇』 滝沢真喜子  
p.45
  - 『仙台学』緊急刊行〈東日本大震災〉 千葉由香 p.45
  - 震災後の会津 管家博昭 p.46
- 

まんだら vol.48  
(2011年8月発行)

[特集]世界遺産・平泉を語る

- 平泉の仏国土(浄土)思想(対談)  
八重樋忠郎×入間田宣夫 p.2  
(活動記録等)
- 文化財レスキューへの取り組み(対談) 藤原徹×米村祥央  
p.9
- 平成23年度文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事  
業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的  
総合研究」研究学会内ワークショップ 極東ロシアと東北  
地方との相対研究の可能性

- 
- 佐々木史郎・田口洋美・福田正宏 p.12
  - 平成23年度文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業  
「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的  
総合研究」東北文化研究センター公開講座 自然災害と縄  
紋人—自然への祈り 安斎正人 p.17
  - [book review]マタギ自らが“マタギ”を語る 田口洋美  
p.19

[新連載]

- 縄紋人のこころ[1]動物と縄紋人 安斎正人 p.22

[連載]

- 池上冬樹の東北文学雑感[8]戦時下の時代的気分と児童  
文学 池上冬樹 p.28
- 古文書解読405号室[4]私が干すべきか、彼が干すべき  
か、それが問題だ 中村只吾 p.34
- リレーエッセイ〈東北を撮る〉6 鮎川歌舞伎 腰高直樹  
p.38

[地域誌だより21]

- 大変な時代、賢明な縄文人に学ぶ 杉山陸子 p.42
  - 被災地を訪ねる 滝沢真喜子 p.43
  - 『仙台学』第12号刊行 千葉由香 p.44
  - 未来への伝承に向けて 管家博昭 p.45
  - 表紙を飾るアーティストたち 井上和則 p.47
- 

まんだら vol.49

(2011年11月発行)

[特集]東北あるく・みる・きく

- 映像アーカイブの可能性(座談) 田口洋美・チーム「あるく  
みる・きく」(荒川千晴・井筒桃子・角田美里・高橋里奈 p.2  
(活動記録等)
- 平成23年度文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事  
業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的  
総合研究」[公開シンポジウム]中世への胎動—北の視  
点・南の視点(基調講演)阿部、清原、藤原 政権の成立史  
を組み直す 北方諸地域の差異に関する考古学的所見に  
学んで 入間田宣夫 p.7
- 平成23年度文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事  
業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的  
総合研究」(考古学・歴史学・民俗学 合同公開研究会・  
報告会)飛島一ほる・よむ・きく  
福田正裕・中村只吾・岸本誠司 p.16
- 〈学生たちのフィールドレポート・6〉秋田の木造和船を訪ねる

- 
- 角田美里 p.21  
[ブック・レビュー]  
○『チャイナドレスの文化史』を語る 謝黎 p.12  
○『大槌の自然、水、人』を読んで 因幡敬宏 p.14

[連載]

- 池上冬樹の東北文学雑感[9]内面化する戦争、そして終わり  
なき戦後 池上冬樹 p.24  
○古文書解読405号室[5]それが一大事 中村只吾 p.30  
○縄紋人のこころ[2]自然への祈り—土偶① 安斎正人  
p.34  
○リレーエッセイ〈東北を撮る〉7 映画「よみがえりのレシピ」完成  
と山形国際ドキュメンタリー映画祭 渡辺智史 p.39

[地域誌だより22]

- 「挑発」と「バトル」と「マグマ」—「津軽学」私考 菊池正浩  
p.43  
○『12の贈り物』刊行 滝沢真喜子 p.44  
○『宮城県郷土かるた』復刻披露 千葉由香 p.45  
○地域の調べ方—おあたごさま 菅家博昭 p.46  
○表紙を飾るアーティストたち(座談) 佐々木優衣・内藤正敏  
p.47
- 

- まんだら vol.50  
(2012年2月発行)

[特集]自然・エネルギー・放射能汚染

- 東北文化研究センター公開講座 放射能汚染と東北の自然  
田口洋美 p.2  
○東北の自然エネルギーを語る(対談) 三浦秀一・岸本誠司  
p.9

[若者たちの東北]

- 茅葺き文化を伝える(座談)  
田上正典・吉野麻衣子・岸本誠司 p.14  
○〈特別寄稿〉秋田県における茅葺き文化の現状 田上正典  
p.22  
○〈リレー対談 若者たちの東北1〉贈答の気持ちを支える仕事  
加勢宏子・竹原万雄 p.26

[連載]

- 池上冬樹の東北文学雑感[10]戦争、そして短歌に詠まれた  
傭哭 池上冬樹 p.28  
○縄紋人のこころ[3]自然への祈り—土偶② 土器型式編年と  
土偶の形態 安斎正人 p.34

- 
- 古文書解読405号室[6]結束力 中村只吾 p.39  
[地域誌だより 23]  
○『津軽学』次のテーマは 杉山陸子 p.43  
○『天晴れ! 盛岡文士学』刊行 滝沢真喜子 p.44  
○かるた大会レポート 千葉由香 p.45  
○山野の草と暮らし 管家博昭 p.46  
○表紙を飾るアーティストたち(草彅裕) 内藤正敏 p.47
- 

◎デザイン哲学研究所

- 
- デザイン哲学研究所 2011年度報告書  
(2012年3月発行)

- 
- デザイン哲学研究所概要 p.3  
○デザイン哲学叢書『デザインの知』の刊行  
·デザイン哲学叢書『デザインの知』vol.6 2012 p.6  
○講演・シンポジウムの開催 p.10  
·心産業〈Mindustry〉—『工業社会を越えて—震災復興  
から人災復興へ』  
○デザインカフェの実施 p.24  
·学生のための質問コーナー p.24  
·コミュニケーションデザインについて p.31  
·風土と建築 p.41  
○デザインの意味・本質に視線を向けた研究・実践(広義のデ  
ザイン哲学)の調査とデータベースの構築  
·東北芸術工科大学の产学連携実例 p.50  
○アーカイブ・デザインミュージアム設立準備としての調査研究  
p.54  
○共同研究会の実施  
·基調講演「山形ものづくり考」 p.56  
·デザイン哲学研究所オープン・リサーチ・センター整備事業  
活動報告会 p.66  
○報道一覧 p.75

- 
- 平成19年度～平成23年度 オープン・リサーチ・センター整備  
事業 研究成果報告書  
「デザインの意味と本質に着いて意識改革を促す活動とその  
ための基礎調査研究」  
(2012年3月発行)

- 
- オープン・リサーチ・センター整備事業を終えて p.1  
○研究成果報告書概要 p.4  
[デザイン哲学叢書『デザインの知』の刊行] p.31  
○デザイン哲学叢書『デザインの知』vol.2 p.32

- 
- デザイン哲学叢書『デザインの知』vol.3 p.33
  - デザイン哲学叢書『デザインの知』vol.4 p.34
  - デザイン哲学叢書『デザインの知』特別号 p.35
  - デザイン哲学叢書『デザインの知』vol.5 p.36
  - デザイン哲学叢書『デザインの知』vol.6 p.37

#### [講演・シンポジウムの開催]

- 持続可能な社会を目指すスウェーデン自治体の環境政策～脱地球温暖化へ向けた地域の取り組み～  
レーナ・リンダル・矢作ルンドベリ智恵子・三浦秀一 p.42
- デザインから拓げていく～21\_21 DESIGN SIGHTの活動  
を事例に～ 川上典李子 p.67
- エコデザインで地球環境問題と戦う 山本良一 p.83
- WOOD WORKS ヘルマン・カウフマン p.92
- サステナブルデザインの今日と明日 益田文和 p.99
- 日本の建築の中に未来を見つける 黒川雅之 p.108
- 犬と鬼 アレックス・カー p.116
- 人と自然にやさしい持続可能な社会をつくる ～サステナブル  
デザイン p.132
  - ・講演1:現在の地球環境 山元良一
  - ・講演2:社会イノベーションとコミュニティ エツィオ・マンズィニ
  - ・講演3:東北文化:山の形をした魂 千歳栄
  - ・講演4:自然と生きる～手作りの暮らし  
ベニシア・スタンリー・スマス
  - ・プレゼンテーション:サステナブルデザインアイデアコンペ  
過去最優秀提案
  - ・プレゼンテーション:全国高等学校デザイン選手権大会  
2010優勝・準優勝提案
- 心産業〈Mindustry〉—工業社会を越えて—「震災復興か  
ら人災復興へ」 熊野英介 p.171 熊野英介

#### [デザインカフェの実施]

- 小さな感動 次なる発想 柚木泰彦 p.186
- デザインの鍵 竹内昌義 p.192
- もの創り考～私達の創作の原風景から日本人のオリジナリティ  
を考える～ 岡田真宏 p.202
- 山形のつくり手とデザイン 秋田道夫、ナガオカケンメイ、  
小野里奈、長谷川光昭 p.206
- 新たな価値観、美、魅力とは?～Cradle to Cradleのデザイ  
ン～ 植松豊行 p.225
- サステナブルデザインってなんだろう? 植松豊行 p.239
- 強いブランドからやさしいブランドへの変革 地域創成ブランド  
のすすむべき方向性—京都からの視座— 久保雅義  
p.246
- 黒川雅之オープフレクチャー 黒川雅之 p.255
- 地域社会とサステナブルコミュニケーション～食と農から考  
える 澤登信子、後藤貴昌 p.263

- 
- あなたの作品は知的財産です—学生の創作物にデザイン  
保護措置を— 保谷成樹 p.274
  - 自然に学ぶ新しい暮らし方のかた・ち 石田秀輝 p.284
  - 人と環境への配慮に基づく新たな価値創り…第5回サステ  
ナブルデザイン国際会議山形開催に際して 片上義則、  
植松豊行、竹内昌義、平林千春、三浦秀一、柚木泰彦  
p.297
  - 学生のための質問コーナー 山崎亮 p.317
  - コミュニティデザインについて 山崎亮 p.326
  - 風土と建築 本間利雄 p.337

#### [デザイナー・建築家によるデザイン提案(サステナブルデザイン アイデアコンペの開催)]

- サステナブルデザインアイデアコンペ2008 p.346
- サステナブルデザインアイデアコンペ2009 p.352
- サステナブルデザインアイデアコンペ2010 p.357

#### [デザインの意味・本質に視線を向けた研究・実践(広義の デザイン哲学)の調査とデータベースの構築]

- 東北芸術工科大学卒業・修了制作セレクション2008  
p.365
- 東北芸術工科大学卒業・修了制作セレクション2009  
p.369
- 東北芸術工科大学卒業・修了制作セレクション2010  
p.373
- 東北芸術工科大学产学連携実例 p.378

#### [アーカイブ・デザインミュージアム設立準備としての調査研究]

- 伝統工芸分野の調査研究 p.382
- クラフト分野の調査研究 p.415
- 家具分野の調査研究 p.417
- サステナブルデザイン分野の調査研究 p.419
  - ・山形版 サステナブル・ライフスタイル絵巻の収集・研究
  - ・やまがた・サステナブル・デザイン展の開催
- アーカイブ・デザインミュージアム設立のための準備 p.422
  - ・山形版 サステナブル・ライフスタイル絵巻をWebに掲載
  - ・伝統工芸公募展入賞作品の概要をWebに掲載

#### [共同研究会の実施]

- 平成19年度共同研究会 p.424
- 平成20年度共同研究会 p.438
  - ・基調講演:多様なユーザーとともに明日のデザインを探る  
荒井利春
  - ・パネルディスカッション:デザインと人間・環境  
荒井利春、岡田真宏、植松豊行、平林千春、三浦秀一
- 平成21年度共同研究会 p.463
- 平成22年度共同研究会 p.477

- 平成23年度共同研究会 p.492  
・基調講演:山形ものづくり考 千歳栄  
・デザイン哲学研究所ORC整備事業活動報告会  
久保雅義、齋藤学、千歳栄、片上義則、植松豊行、竹内昌義、  
柚木泰彦  
○報道一覧 p.511

デザイン哲学叢書 デザインの知 vol.5 2011  
(2011年6月発行)

- 発刊によせて 地域のサステナビリティを目指して または、  
地域に根差したものづくり・活動の継承 片上義則 p.9

[地域に根ざしたサステナブルな物づくり事例]

- 関川のしな織 三浦秀一 p.12  
○森の恵みを人に届ける「伝灯使」ハチ蜜の森キャンドル  
安藤竜二さん 遠藤牧人 p.24  
○山形鉄物 菊地保寿堂の取り組み 植松豊行 p.44  
○置賜地方の伝統技法 青苧・紅花・深山和紙 三橋幸次  
p.60  
○「手染め寒河江出世鯉のぼり」の鯉のぼり師 渋谷鯉のぼり  
渋谷良春さん 遠藤牧人 p.82  
○株式会社天童木工 片上義則 p.102  
○Plywood Transform Project 家具のはしごによるものづくり  
多田木工×東北芸術工科大学 产学共創ワークショップ  
西澤高男 p.112  
○大館曲げわっぱ 柚木泰彦 p.130  
○〈山形仮壇〉聖地"に伝わる伝統の技を未来に伝える  
平林千春 p.148  
○エコハウス 竹内昌義 p.158  
○米沢織(置賜紬) 竹内昌義 p.162  
○絨毯、綾通産業に於けるサステナビリティ—  
オリエンタルカーペット株式会社 植松豊行 p.164  
○棚田を活かした地域間交流を推進する 上郷花畠組合  
佐竹勝男さん 遠藤牧人 p.182  
○民俗学をベースに人と人を繋ぐデザインユニット  
じゃぱんデザイン事務所 遠藤牧人 p.202

[講演録]

- デザイン哲学研究所講演会 犬と鬼 アレックス・カー  
p.226  
○デザインカフェ 自然に学ぶ新しい暮らし方のかた・ち  
石田秀輝 p.238

○おわりに 編纂に際して 植松豊行 p.254

デザイン哲学叢書 デザインの知 vol.6 2012  
(2012年3月発行)

- 発刊によせてはじめに 片上義則 p.8  
[オープニングセミナー]人と自然にやさしい持続可能な社会をつくる  
サステナブルデザイン  
○オープニングセミナー概要 植松豊行 p.12  
○講演1 現在の地球環境、世界の状況 山本良一 p.18  
○講演2 スモール・ローカル・オープン・コネクテッド～ネットワークと  
サステナビリティの時代におけるシナリオ エツイオ・マンズイニ  
p.34  
○講演3 山形精神文化考 東北文化一山の形をした魂  
千歳栄 p.48

[Exhibition]

- 山形版 サステナブル・ライフスタイル絵巻について  
植松豊行 p.64  
○同時開催された やまがた・サステナブル・デザイン  
遠藤牧人 p.70

[第5回サステナブルデザイン国際会議]

- 分科会分科会概要 p.76  
  
○分科会A ものづくり p.78  
○概要 植松豊行 p.78  
○キーノートスピーチ これからものづくり 青木史郎 p.82  
○プレゼンテーション  
1. 地域に於ける伝統を活かした新たな価値観創出活動、  
菊地保寿堂の取り組み 菊地規泰 p.96  
2. グリーン・イノベーション・デザイン 加藤公敬 p.102  
3. コクヨの間伐材事業 国産材の可能性を求めて  
木下洋二郎 p.108  
○まとめ 植松豊行 p.114

○分科会B 風土で育む環境・空間 p.120

- 概要 竹内昌義 p.120  
○キーノートスピーチ 風土と建築 山形での活動 本間利雄  
p.122  
○プレゼンテーション  
1.エコミュージアムと生活環境の創造 大山由美子 p.130  
2.「色切/Shikiri」エマニュエル・ムホー p.134  
3.山形の森林農村の現状と課題 三浦秀一 p.138  
○まとめ 竹内昌義 p.144

○分科会C 文化資産を活かしたビジネス p.150

- 概要 柚木泰彦 p.150  
○キーノートスピーチ 文化遺産を活かしたビジネスについて

---

谷口正和 p.152

○プレゼンテーション

1.伝統工芸産地からサステナブルデザインを考える 大館曲げ

わっぱの取り組み 柚木泰彦 p.164

2.森林から生み出されるソーシャルビジネス 澤登信子

p.170

3.東北の資源を活かす地域デザイン 平林千春 p.174

○まとめ 柚木泰彦 p.180

◎分科会D 新しい価値観に基づいたコミュニティづくり

p.186

○概要 益田文和 p.186

○キーノートスピーチ design as a catalyst—触媒としての

デザイン エツイオ・マンズイニ p.188

○プレゼンテーション

1.ハチ蜜の森キャンドル 安藤竜二 p.198

2.上郷花畠組合の取り組み 佐竹勝男 p.204

3.じやぽんデザイン事務所 吉田勝信 p.210

4.世界のDESIS活動報告 アンドレア・メンドザ p.214

○まとめ 益田文和 p.218

[デザインカフェ・講演会、ほか]

○学生のための質問コーナー コミュニティについて 山崎亮

p.224

○コミュニティデザインについて 山崎亮 p.242

○風土と建築 本間利雄 p.262

○心産業 [Mindustry] 工業社会を超えて[震災復興から人

災復興へ] 熊野英介 p.276

○おわりに 編纂に寄せて 植松豊行 p.302

---

## 執筆者一覧

### Contributors

近藤 一弥 デザイン工学 グラフィックデザイン学科 教授 Kazuya KONDO Department of Graphic Design, School of Design, Professor.....	表紙	
白杉 悅雄 教養教育センター 教授 Etsuo SHIRASUGI Center for Liberal Arts, Professor.....	11	
古藤 浩 教養教育センター 准教授 Hiroshi KOTO Center for Liberal Arts, Associate Professor.....	17	
早野 由美恵 デザイン工学部 プロダクトデザイン学科 准教授 Yumie HAYANO Department of Product Design, School of Design, Associate Professor.....	24	
柳川 郁生 教養教育センター 准教授 Ikuro YANAGAWA Center for Liberal Arts, Associate Professor.....	32	
片桐 隆嗣 教養教育センター 教授 Ryuji KATAGIRI Center for Liberal Arts, Professor.....	41	
平林 千春 デザイン工学部 企画構想学科兼大学院仙台スクール教授 Chiharu HIRABAYASHI Department of Project Design, Graduated School in Sendai, School of Design, Professor.....	50	
志村 直愛 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授 Naoyoshi SHIMURA Department of Environmental Design, School of Design, Professor.....	62	
久保田 力 教養教育センター 教授 Chikara KUBOTA Center for Liberal Arts, Professor.....	72	
Minatsu ARIGA Center for Liberal Arts, Part-time lecturer / Researcher 有賀 三夏 教養教育センター 非常勤講師 / 研究員.....	84	
玉井 建也 特別講師 Tatsuya TAMAI Guest Lecturer.....	92	
吉田 正高 教養教育センター 准教授 Masataka YOSHIDA Center for Liberal Arts, Associate Professor.....	92,102	
山口=内田 雅克 教養教育センター 教授 YAMAGUCHI=UCHIDA Masakatsu Center for Liberal Arts, Professor.....	114	
山田 烈 芸術学部 美術史・文化財保存修復学科 非常勤講師 Isao YAMADA Department of Art History and Conservation, School of Art, Part-time Lecturer.....	四(165)	

---

## 編集後記

### Afterword

---

寄稿いただきました先生方及び古藤委員長をはじめ、他の委員の方々に御礼申し上げます。

本号は20回記念号として、これまでの本学紀要の在り方を振り返りながら、表紙をはじめ体裁、構成を見直すところから始めました。もちろん、過去の蓄積を生かしながら、さらに深める試みです。その結果、教養ゼミナールの農芸クラスから教育研究・成果の寄稿をいただくなど、本学教育の現況を発信する場としての紀要へと転換を始めたように思われます。今後も、本学ならではのユニークな教育研究や活動の寄稿をいただけることを期待しています。また、本年度は博士課程からも論文投稿を募ったのですが、反応が鈍く残念です。

今後は、教職員の皆さまはもちろんのこと大学院生からも積極的に投稿していただけることを願います。(青山)

本学紀要も、節目の20号を迎えることができました。この20号では、従来の研究論文のほかにも、本学のカリキュラムに沿って各教員が積極的に取り組んでいる講義・ゼミナールに関する実践的な報告や特集が、数多く掲載されています。これは近年の入学者の多様化に適切に対応し続け、講義や演習の内容をより良い形に改善していくとする本学教員の姿勢を示すものであり、今後もより盛んになっていくと思われます。

また、紀要が果たすべき大きな意義の一つに、「若手研究者の意欲的かつ斬新な研究発表の場の確保」があると考えますので、次号以降は本学大学院生からの積極的な投稿を期待します。(吉田)

出版とグラフィックデザインの専門分野を有する本学らしい紀要が、もうすぐ完成します。今回は区切りの20号ということで、内容もデザインも大幅にリニューアルしました。特集と出版物総目次を設け、エディトリアルデザインはグラフィックデザイン学科の近藤一弥教授に依頼しました。この世界を牽引する同教授の手にかかると、本学の紀要がどのように変貌するのか—かつて雑誌編集やグラフィックデザインを職業してきた私にとって、とても興味深い仕事でした。近藤教授の文字組は抑制がきいて格調高いですね。皆さんはいかがお感じですか。

紀要是大学の「知の顔」である、という考えに立って、私はこの仕事を引き受けましたが、思い描く「知の顔」は人それぞれです。残念ながら、前回に引き続き今回も、ビジュアル作品の投稿はありませんでした。本学の紀要是、そういった分野の人たちに支持してもらえる「顔」にはなっていないということなのでしょうか。メディアの選択肢が多いこの時代に、多くの研究者や芸術家、デザイナーに支持される紀要とは、いったいどのようなものなのでしょうか。(遠藤)

---

東北芸術工科大学創立20周年を記念して大くりニューアルした紀要第20号をここに発刊することができました。投稿者の方々と紀要編集にご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

特集論文、東北芸術工科大学出版物総目次の2種類の新企画を考え、特集論文に関しては人選と執筆依頼、出版物総目次に関しては目次情報の依頼とフォーマットの検討と、新企画に関連する事柄で慌ただしい一年となりました。何がよいかと頭を絞った結果なので、これをしばらく続けていければと思っております。

私は本学創設時より教鞭を執っており、紀要第1号にも投稿しました。それを手元に出してみると、22論文、318ページという豪華な紀要でした。筆頭に掲載されている論文は今野忠一画伯の「わが名山」です。このときは美術科の諸先生からも5論文の投稿があり、本当に芸術・デザイン・教養のバラエティに富んだ紀要となっていました。今回は芸術作品系の論文が少なかったので、第21号はそちらにも近づいていけたらなあと願っています。また、本号より大学院生の諸君にも門戸を開いているので投稿を待っています! (古藤)

---

東北芸術工科大学紀要 No.20

平成25(2013)年3月31日 発行©

発行者:東北芸術工科大学

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

学長 根岸吉太郎

編集:紀要編集委員会

編集委員長:古藤浩

編集委員:

吉田正高

青山ひろゆき

遠藤牧人

エディトリアル・デザイン:近藤一弥

印刷:田宮印刷株式会社

---

目次 | Contents

---

椿椿山『足利遊記』翻刻・解題 ..... 図(165)

Tsubaki Chinzan's Travels in Ashikaga: Reprint and Bibliography

山田烈 | Iiso YAMADA

東北大学芸術学部  
雑誌

BULLETIN OF  
TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

No.20 | Mar.2013



TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

No.20 | Mar.2013

BULLETIN OF  
TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

東北芸術工科大学 編覧